

発達障害児者地域生活支援モデル事業プロジェクトチーム

取組期間：令和4年7月～5年3月

報告書記載者・代表：札幌市保健福祉局障がい保健福祉部 東 如恵

事業委託：社会福祉法人はるにれの里

令和4年度の重点取組

- ・発達障がい特性のある方へのひきこもり支援として、①専門家チームを派遣し、事例検討を実施②4年間の取組をまとめた支援者向け冊子の作成③研修会の実施④企画推進委員会とその中で事例検討を実施。これらの効果検証と各機関への情報提供により、当事者への支援体制強化が進むことを目的とする。

活動概要

- ①専門家チーム派遣による事例検討（10月～12月）厚別区・西区・手稲区
- ②支援者向け冊子『ひきこもり支援ガイド』（2月完成予定）
- ③年2回、地域包括支援センターや相談支援事業所等を主な対象とした研修会の実施
 - 発達障がい者支援について、機関連携やその仕組みづくりについての講話、事業報告を通して支援手法や関係機関の連携のあり方について、情報提供。
- ④年3回、発達障害児者地域生活支援モデル事業企画・推進委員会を開催
 - 事業運営についての検討・報告
 - 触法ケースの事例検討を実施

抽出された課題

- ・専門家チームを派遣しての事例検討は、ひきこもり支援に有効だが、支援者にその手法を活用してもらうためには、支援者が感じている機関連携へのハードルを明らかにし、そこを改善していく必要がある。

課題解決に向けた次年度の取組予定

- ・ひきこもりのみならず、発達障がい者支援には、他領域をまたいだ支援体制を構築する必要がある。本モデル事業を通じて出来た『CN5』体制は、機関連携の有効な手段と考えられるため、モデル事業企画・推進委員会で、引き続き活動報告しながら、体制の維持をはかっていく。
- ・来年度より、本事業の新たな取組として、強度行動障害者への支援を予定。

